

岸田首相、あなたもですか、カルト集団とのゆ着ぶり。

# 補聴器助成へ国が動けと求め 山添拓参院議員と都内各地から 8/24

止めましょう！  
テロも戦争も



日本共産党北区議会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団  
2022.8.25 No.1885.  
御相談はお気軽に  
TEL とも 3905-0970  
FAX とも  
さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」メガンテ近く)



補聴器の購入費への助成を  
23区内では  
17区実施へ  
北区は未実施  
一刻も早く実現を

●上の写真のように、8月24日(火)午前、衆議院内で、厚労省各担当者から説明を受けながら、高齢者にとって、補聴器は、日常生活の必需品となっていること。



⑤ 近くのお庭に、個性的なブドウさん。  
⑦ 近くの街路樹キクモモさん。

●医学的にも、また世界の共通認識としても、「聞こえないことが、コミュニケーションにとっても、認知症への対応にとっても、重大な課題となっている」とも、参加者は次々と発言しました。

●さがら区議も、厚労省に、**補聴器技能者として認定されている人は、何人いるのか**と質問。すると、「認定補聴器技能者の資格をとるのには4年かかり、全国では4,500人程度」と答えました。私は、「高齢化という実態から、大きく遅れている。わが国は本気に、力を入れてとりむ必要がある」と求めました。

# 核禁条約批准へ“政府に圧力” 高校生行進に注目



核兵器廃絶を求めて「アビールウォーク」する高校生ら=20日、東京都渋谷区

東京・渋谷  
名を挙げ出した高校生や学生ら  
ら元人分加日、核兵器の廃絶  
絶や平和を願って東京都渋谷区  
谷反の繁華街を打進し

# 憲法は希望。

- 核兵器禁止条約を批准するよう政府に迫る高校生。東京でも、被爆地広島でも、長崎でも、平和記念ホールで学びながら。
- 憲法改悪ムリ**  
選挙ガールズ **ぽんん!**
- モリ、カク、サクラ、カルトの安倍元首相の国葬反対と学者も文化人も、立ちあがる市民。



# 銀座に選挙ガールズ

「憲法改悪ムリぽんん！」と沿道にアビールし、銀座をパレードする選挙ガールズ=20日、東京都中央区

# 沖縄から「戦世ならん」 知事選



政策を発表するデニー知事(中央)=17日、那覇市

●大激戦の中、8月25日告示、9月11日投票日です。

「新時代をさらに先へ  
沖縄、デニー知事  
●「オール沖縄」の政策は、平和を誇りある豊かさを。」私も応援します。さがら

# 「第7波」在宅死続発 岸田政権のもと 救える命が救えない。

新型コロナウイルス感染「第7波」の大爆発で医療提供体制が崩壊状態となり、高齢者など基礎疾患のあるコロナ患者が入院できないまま自宅で亡くなる事象が続発しています。  
(内藤真二子)

東京都台東区の隅田川に近い路地。遠ざかる救急車のサイレンを聞きながら早苗さん(57)＝仮名＝は4週間前のことを振り返り、絞り出すように話しました。「父は救急車の中で独りぼっちのまま逝ってしまった。あつてはならない残酷な出来事です」  
80件以上連絡

## WONN しくぼく・特報



実家の居間で父の遺影を見つめる早苗さん(仮名)＝東京都台東区

### 救急搬送先見つからない 5時間後に父は…

ったのは7月25日午後3時すぎ。かかりつけ医の定期往診時に40度の熱があり抗原検査をしました。救急要請し、救急隊と診療所が80件以上の病院に連絡しましたが搬送先が見つかりませんでした。5時間後、車内で息を引き取りました。

認知症を患う正雄さんは寒暖の感覚がマヒしており介護する妻(83)が目を見離すと夏でも重ね着して、よく熱中症になりました。4日前から発熱しても咳(せき)はなく、妻は熱中症と考え体を冷やし様子を見ていました。熱はいったん下がりましたが再び上がり、25日は朝から食事がとれないほどでした。

救急車が到着したとき血中酸素飽和度は80%台で重中中等症Ⅱ。濃縮酸素を投与しても呼吸不全は改善せず、時間が経過するにつれ救急隊員に緊張が走ります。「命が危ない」。救急隊員に要請され診療所の看護師長は医師の指示を得て応急処置にあたりました。同師長(60)は語ります。

「薬剤投与しようと手足の血管に点滴針を刺しました。でも脱水状態が激しくて、できません。解熱剤の

座薬を入れるのがやっとでした。早く病院に搬送できれば、太い血管(中心静脈)から点滴ルートをとって投薬治療ができました。酸素も高流量の投与が可能ですが、明らかに結果は違っていた。残念です」以下略

### 災害級の崩壊

首都圏の救急病院で働く医師で、日本共産党東京都委員会コロナ対策本部長の谷川智行氏の話  
医療現場はコロナだけでなく救急医療を中心に一般医療も災害級の崩壊状態です。岸田政権はこの事態を国民に正確に知らせ、感染拡大防止の抜本的な対策をとるべきです。情報弱者の高齢者は医療にアクセスしにくく、検査や治療が遅れる人が多い。政府は高齢者など重症化リスクのある人がしっかりと医療が受けられる仕組みを至急構築するべきです。経済を回すことが最優先で高齢者は命を落としても仕方がないという政治は到底許されません。

日本共産党は、PCR検査の拡大、発熱外来の強化などくり返し対策の徹底を求めています。こうした中で、

北区では、症状(軽症)のある高齢者を対象とした

PCR検査会場として、北歯科医師会館に設置

会場: 東十条駅南口近く (中+条 2-11-4)

北歯科医師会館の馬車場

期間: 8月22日(月)～31日(水)まで 土日を含む 10～12時と 13～15時控

受入れ: 1時間あたり10人程度  
検査: 唾液採取のPCR検査 (又は、鼻腔拭き採取)

電話による予約を  
080-7508-8752  
070-1814-2539

検査結果は翌日電話で連絡。  
陽性の場合、保健所医師が発生病を提出し、遠隔医療や往診などに切り替

国内での  
コロナ死者  
8/23 確認  
343人と、  
過去最多  
となりました。  
(※これまでは、一日あたりの  
最多は2月22日の327人)

「しんぶん 赤旗」 2022年 8月24日付 一面トップより